

おおのがわ ほつでんしよ がいよう  
**大野川発電所の概要**

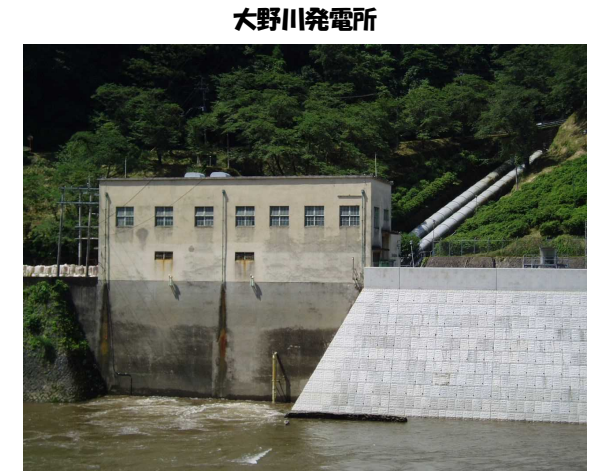


おおのがわ ほつでんしよ かいよう  
 大野川発電所は昭和27年に完成した県営最初の発電所です。

ふんご おおのし きゆうみえまち もも えだ ちてん しゆすい せき  
 豊後大野市(旧三重町)の百枝地点の取水堰で取水し、  
 途中で支川の三重川からも補給、全長約12kmの隧道を  
 通って大飼の発電所に水を送っています。

また、導水路の水は昭和井路、西原井路等にも送られ

農業用水としても利用されています。



水力発電は地球にやさしい



クリーンだよ!

クリーンエネルギーです!

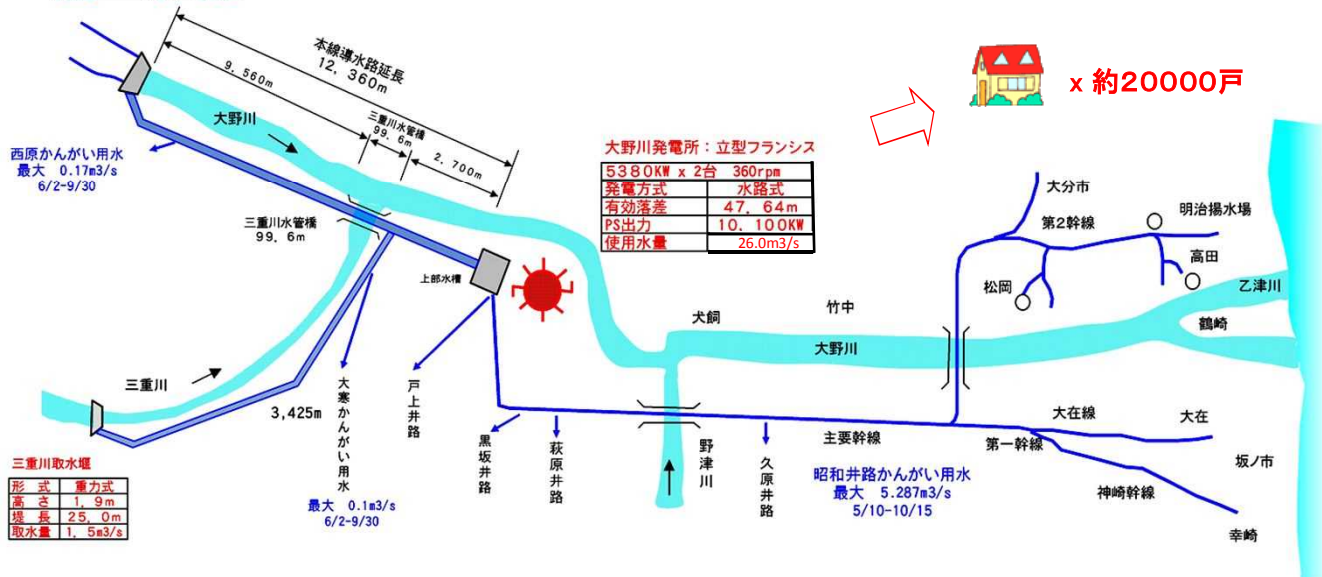


**百枝取水堰**

形式	重力式
高さ	8.9m
堤長	115.5m
貯水容量	300.0m <sup>3</sup>
有効貯水容量	205m <sup>3</sup>
取水量	24.5m <sup>3</sup> /s

**大野川発電所：立型フランシス**

5380KW x 2台	360rpm
発電方式	水路式
有効落差	47.64m
PS出力	10,100KW
使用水量	26.0m <sup>3</sup> /s



**三原川取水堰**

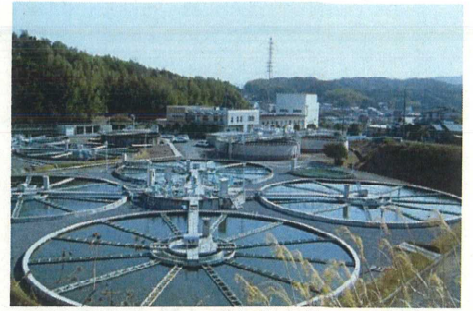
形式	重力式
高さ	1.9m
堤長	25.0m
取水量	1.5m <sup>3</sup> /s



# 【工業用水道事業】

大分県企業局では、昭和34年に大分臨海工業地帯の会社に工業用水を送り始めました。

現在では、<sup>おおつる</sup>大津留浄水場と<sup>はんだ</sup>判田浄水場から42の会社に毎日55万2千m<sup>3</sup>の水を送っています。



判田浄水場（大分市）



工業用水ってなに？水道の水と違うの？



工場で品物をつくる時に、材料を冷やしたり洗ったりするときに使われる水を「工業用水」と呼ぶんだよ。

水道の水は、そのまま飲めるように水質基準というきびしい決まりがあるけど、工業用水は飲むための水ではないので、きまりが水道の水ほどきびしくないから、やすく作れるんだ。

工場では、水をたくさん使うから、やすい水が必要だね。

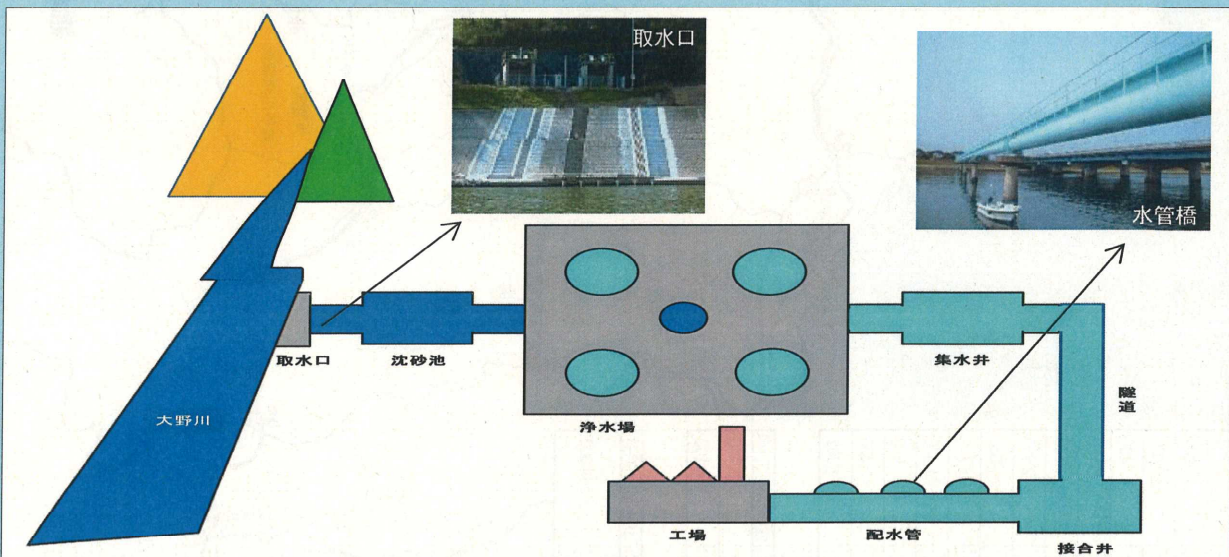


たくさん水をどうやってつくり、送ったりしているの？



大野川から水を取って、<sup>ちんしゃち</sup>沈砂池で砂やゴミを取ったり、浄水場でにごりとりや<sup>ペーハー</sup>p h調整をする薬品を入れたりして、工業用水に適した水にして、配水管や<sup>ずいどう</sup>隧道、水管橋などを通して工場に送るんだ。

配水管などの長さは全部で約54km、隧道は約24kmもあるから、おっきなポンプで送り出すんだよ。



## マメ知識：工業用水の専門用語



- ・<sup>ペーハー</sup>p h：水の酸性・アルカリ性の程度を表す単位。リトマス試験紙で勉強したかな。
- ・<sup>ずいどう</sup>隧道：トンネルのこと。ちょっと古い言い方だね。
- ・給水量：企業局が会社に送る水の量。42の会社への1日の給水量は、大分市水道局の給水量の約4倍に当たるよ。